

日本株テーマセレクションの運用状況

日本株テーマセレクション
追加型投信／国内／株式

2018年1月10日

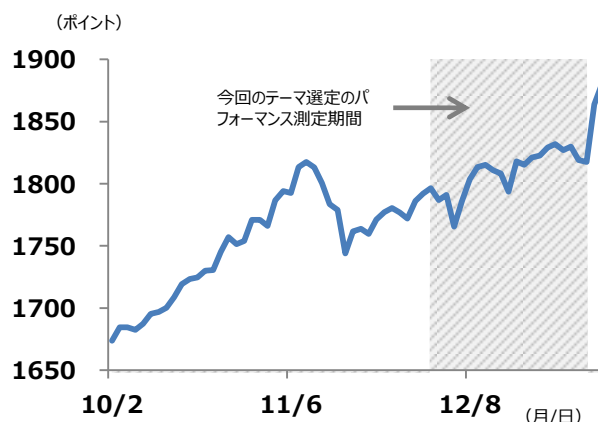
- 当ファンドでは、現在31の投資テーマの中から、1月、4月、7月、10月に前月のパフォーマンスが相対的に高かった3つの投資テーマを選定し、ポートフォリオを構築しています。
- 当レポートでは、1月に実施した投資テーマの見直しおよび組入銘柄の状況についてご紹介します。

【 TOPIXが年初来高値を更新する中、相対パフォーマンスが上位となった3テーマを選定 】

今回の投資テーマ見直しでは、①高米ドル感応度、②資源価格低下、③資本財が選定されました。高米ドル感応度と資本財の2テーマは前回に続き選定された一方、コーポレート・ガバナンスは入替えとなりました。

パフォーマンス測定期間となる12月の日本株市場は、エルサレムを巡る中東情勢への警戒感から下落する場面がありましたが、日本企業の好業績への期待や、米国の税制改革法案が進展したことを背景に堅調に推移し、TOPIXは下旬に年初来高値を更新する動きとなりました。このような中、世界的な景気拡大や米利上げに伴う米ドル高への期待が、継続の2テーマにプラスに働いたと思われます。資源価格低下に関しては、米法人税減税の恩恵が見込まれる自動車株などの上昇が寄与したことに加えて、リスクが相対的に低めだったことも、リスクと比較したリターンで測る順位を押し上げました。

TOPIX（東証株価指数）の推移



（期間）2017年10月2日～2018年1月5日、日次
（出所）Bloomberg データより岡三アセットマネジメント作成

選定された3つの投資テーマ

No.	テーマ名	タイプ	銘柄数	概要
1	高米ドル感応度	マクロ系	36	米国での売上高比率が高く、米ドル円の為替変動に対する感応度が高い銘柄を組入れます。
2	資源価格低下	マクロ系	26	資源価格及び原材料価格の低下から恩恵が期待される銘柄を組入れます。
3	資本財	セクター系	64	資本財セクターの銘柄を組入れます。 建設・土木、電気設備、機械等

※各投資テーマの銘柄数は、2017年12月29日時点（出所）モルガン・スタンレー・アジア・リミテッドの提供資料を基に岡三アセットマネジメント作成

【 組入上位は、輸送用機器や電機、機械の主力大型株 】

個別銘柄では、リバランス前の12月末と比較して、その他製品や化学セクターの銘柄に代わって、輸送用機器や電機セクターの主力大型株が新たに組入上位10銘柄となっています。

組入上位10銘柄

（2018年1月5日時点）

No.	コード	銘柄名	業種	組入比率	採用されている投資テーマ		
					高米ドル感応度	資源価格低下	資本財
1	7267	本田技研工業	輸送用機器	4.3%	○	○	
2	6594	日本電産	電気機器	4.0%		○	○
3	7203	トヨタ自動車	輸送用機器	4.0%	○	○	
4	6301	小松製作所	機械	3.7%	○		○
5	7201	日産自動車	輸送用機器	3.5%	○	○	
6	6954	ファナック	電気機器	3.1%			○
7	6367	ダイキン工業	機械	3.0%	○		○
8	7269	スズキ	輸送用機器	3.0%		○	
9	7270	S U B A R U	輸送用機器	2.8%	○	○	
10	8031	三井物産	卸売業	2.8%	○		○

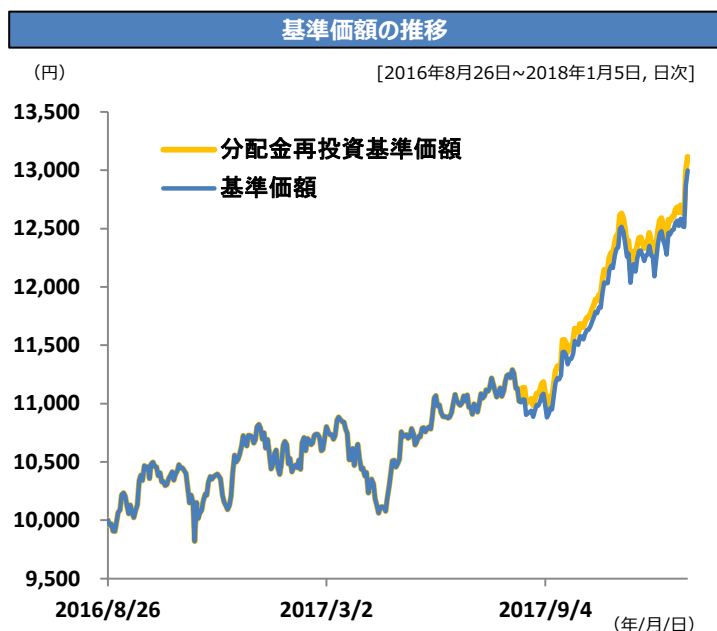
※組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率です。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「日本株テーマセレクション」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

日本株テーマセクション
追加型投信／国内／株式

ファンドの状況



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
 ※設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。
 ※分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものとして計算した基準価額です。
 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

2018年1月5日現在	
基準価額	12,997 円
残存元本	1,249,377,141 口
純資産総額	1,623,816,470 円
組入比率	96.2%
組入銘柄数	103 銘柄

分配金の実績	
第1期 (2017年8月15日)	100 円

組入株式の上位10業種		
順位	業種名	組入比率
1	輸送用機器	28.5%
2	機械	15.8%
3	電気機器	12.5%
4	卸売業	7.2%
5	陸運業	5.4%
6	建設業	4.3%
7	空運業	4.1%
8	化学	3.0%
9	ガラス・土石製品	2.4%
10	サービス業	2.0%

※基準価額は1万口当たりです。
 ※分配金は1万口当たり、税引前です。
 ※組入株式の上位10業種は2018年1月5日現在。
 ※組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率です。

ファンドの特色

- 日本の株式市場における投資魅力のある各種テーマを策定し、3ヵ月毎に投資テーマの選定、入替を行い、選定されたテーマに合う日本の株式に投資します。
- 運用にあたっては、投資候補となる各種テーマの銘柄リストを作成し、各種テーマの1ヵ月間のリターン/リスク※の測定を行い、パフォーマンスの上位3つの投資テーマを定量基準を用いて選定します。
 ※リスクに対するリターンの比率で、この値が大きいほどリスクあたりのパフォーマンスが良好といえます。
- 原則として、3つの投資テーマの投資比率が入替時において均等となるよう各テーマの全構成銘柄に投資します。ただし、財務内容や流動性等を勘案し、構成銘柄の一部を投資対象から除外することがあります。
- モルガン・スタンレー・アジア・リミテッドから、投資テーマおよび投資銘柄に関する情報の提供を受けます。



※上記投資テーマは一例であり、今後変更となる場合があります。 (作成：運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「日本株テーマセクション」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本株テーマセクションに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
永和証券株式会社	近畿財務局長(金商)第5号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡地証券株式会社	東海財務局長(金商)第5号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
高木証券株式会社	近畿財務局長(金商)第20号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
むさし証券株式会社	関東財務局長(金商)第105号	○			○
明和證券株式会社	関東財務局長(金商)第185号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)